

中南米地域における取組

目 次

- I 中南米の概要
- II 中南米における取組
- III 中南米における農業ICT分野での取組



I 中南米の概要

- 人口6.4億人（33カ国） ⇒ アセアン（6.5億人）と同規模
- GDP：5.7兆ドル ⇒ アセアン（3兆ドル）×2倍
- スペイン語：人口の64%（18カ国）、ポルトガル語：人口の33%（ブラジル）
- 日系人社会：210万人（世界全体360万人の6割）

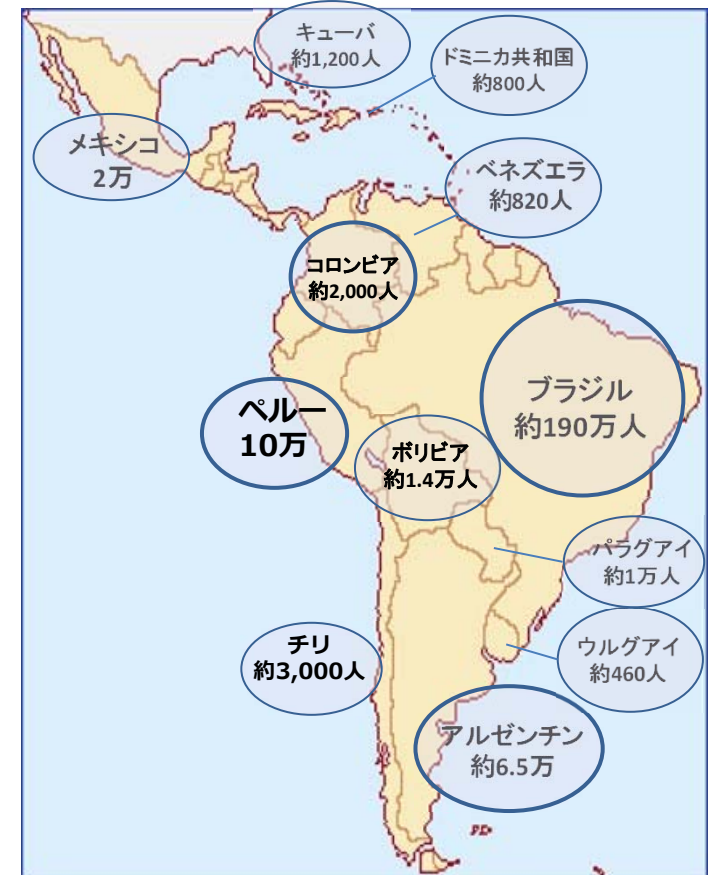
■ 世界最大の穀物（大豆、とうもろこし）の生産地帯

⇒我が国の食料安全保障（穀物の輸入）上、重要な地域。

■ 世界最大の日系人社会（210万人）

⇒日系人社会との連携を通じた日本の食産業の進出や日本の食文化の普及、我が国食品・食材の輸出促進などの可能性。

▷ 中南米の日系人数：210万人



出典：外務省「日本と中南米をつなぐ日系人(2015)」

Ⅱ 中南米における取組

1 中南米日系農業者等との連携交流・ビジネス創出事業 (2013年～)

2 二国間農業食料政策対話

(1) ブラジル (2014年～)

(2) アルゼンチン (2017年～)

※コロンビア、ペルーは、日本との二国間農業対話の設置を要請。

3 GFVC中南米部会 (2020年11月新設)

- ・ 昨年11月、「中南米部会」を新設。
- ・ 分野別分科会、ウェビナー、HPの開設など。

第1回GFVC中南米部会

- 開催時期：2020年11月（オンライン）
- 出席者：約260名（民間企業、政府関係機関、在京大使館など）
- 概要：
 - 1 民間企業の取組（現状と課題）と日本政府への提言。
 - (1)コールドチェーン：前川製作所
 - (2)農業ICT：ソフトバンク（e-Kakashi）
 - (3)食料安全保障（穀物）：豊田通商
 - (4)我が国のアグロ・フードテックのスタートアップ支援：BVC社

<農業ICT分野における提言>

- ・ 中南米におけるジャパン・イノベーションハブの創設
- ・ 政府間の連携、二国間政府の連携
- ・ 企業マッチングの実施、支援スキーム

- 2 政府関係機関（JICA、ジェトロ）の取組／支援スキーム
- 3 在京大使館（アルゼンチン、ブラジル、チリ、コロンビア、ペルー、ウルグアイ、パラグアイ、エクアドル）から中南米部会への期待等。



池田政務官による開会の挨拶



前駐日アルゼンチン大使



新聞報道
(11月7日 日農新聞)

Ⅲ 中南米における農業・水産業ICT分野での取組



中南米・農業ICT分野における情報・意見交換会

中南米における農業ICT分野の取組に関心を持つ機関等との間で、意見交換、情報交換を実施。

- 日 時：2021年3月3日（水）8:00～10:00（Zoom）
- 出席者：民間企業、政府関係機関、在京大使館等（40名程度）
- 目 的：
 - ・ 中南米における農業ICT分野での取組み
 - ・ 中南米各国の農業ICT関心、課題
- 内 容（案）：
 - 1 日本の民間企業（ソフトバンク、ウミトロンなど）
 - 2 現地の民間企業（コロンビア、ブラジル）
 - 3 中南米政府機関（在京大使館、農務省など：亜、伯、チリ、ペルー、コロンビアなど）
 - 4 日本の政府関係機関（総務省、JICA、JIRCAS）
 - 5 意見交換